

好善社 第7回タイ国青少年ワークキャンプ募集要項

(チャンタミット社 TOL親善第7回ワークキャンプ)

I. 実施の概要

1. 目的 タイ国ハンセン病療養所でのワークキャンプを通して
①ハンセン病への理解を深め、好善社・チャンタミット社の働きを知る
②日本・タイ両国の若者同士の交流を深める
③労働を通して生きる喜び、活かされる喜びを知る
④療養所の住民、職員などに両社の働きへの理解を深めてもらう
⑤療養所の住民から直接証言を聞く
⑥ワーク内容：教会教育館内、床張り（コンクリート）
2. 主 題
3. 期 間 2011年8月9日(火)～16日(火)（ワークは12日～14日）
4. 実施場所 メーラオ・コロニー（ML チェンライ県・北部ラオスに隣接）
訪問研修先
①ファイゲウ・コロニー（ナン県・北部チェンライに近い）
②ラーチャプラチャーサマサイ（サムットプラカン県・バンコクの南部）
保育所、教会、病院、新事務所
③クワイ河戦争博物館（カンチャナブリー県・ミャンマー国境）
5. 日 程
9日(火) 成田 11:00-JL717-15:35BKK 関空 11:45-JL5031-15:35BKK
19:35BKK 発 夜行寝台泊
10日(水) 04:19チェンマイ駅 車 2H ファイゲウ CL ファイゲウ若者交流 ナン市ホテル泊
11日(木) 事前研修 10:00 ホテル発 車 3.5H メーラオ CL 準備会 キャンプ 地泊
12日(金) ワークキャンプ キャンプ 地泊
13日(土) ワークキャンプ キャンプ 地泊
14日(日) ワークキャンプ 終了 メーラオ若者と交流 ホテル泊
15日(月) 09:00 ホテル発 チェンライ発 10:20-TG-11:40BKK 着 ラーチャプラチャーサマサイ CGH 泊
16日(火) クワイ河戦争博物館見学 BKK 発(成田)23:10-JL718 (関空 17日)00:20-JL728
17日(水) 成田着 07:25 関空着 07:55
6. 指導者
日本側 リーダー：三吉信彦（好善社理事、教団・千葉教会牧師）
岡田祐之（好善社社員、関学職員）
阿部春代（好善社社員、千葉教会員・看護師）健康管理
本行輝雄（好善社社員、YMCA）
青年リーダー：田島美幸、梅川正太
7. 募集対象 15才以上の男女 15名
*キリスト教会、キリスト教主義学校に通っている者
*日本国内ハンセン病療養所を訪問したことのある者（未経験者には事前に機会を設ける）
*事前説明会に必ず出席し、面談を受ける（遠隔者には別途方法を考える）
8. 参加費 10万円（およそ日タイ往復航空券代）
・タイ国内滞在費及び傷害保険代約3～4万円は好善社が奨学金として負担する
9. 募集の締切 5月末(割安航空券を確保するために、参加を決めたらすぐ申し込んでほしい)
10. 説明会（申し込み受付終了後に日時を調整する）

参 加 申 込 書

私は好善社主催の「第7回タイ国青少年ワークキャンプ」に参加を申し込みます。

日本語氏名：	印	性別（男 女）
ローマ字表記名：	(例 MIYOSHI/NOBUHIKO パスポートに表記したもの)	
生年月日（西暦）：	住 所：	
〒	Tel	携帯電話
メールアドレス：		
所属学校もしくは勤務先：		
所属教会名：	教団	教会（受洗 未受洗）

参 加 意 識

1. 参加を希望した動機、もしくは理由（ハンセン病、ボランティア活動に興味がある、など）
2. ワークキャンプに期待するもの（労働を通して自分を見つめ直したい、など）
3. 自己アピール（自分の長所や特技など）
4. 健康上留意すべきこと（持病など）

送付先 〒260-0855 千葉市中央区市場町9-20 三吉信彦 (Tel043-222-4475 FAX224-5620)
メールアドレス：nob-mys@mbr.ocn.ne.jp

関 係 各 位

社団法人「好善社」理事長 棟居 勇
同 タイ国担当理事 三吉信彦

主の御名を崇めます。

いつも私たち好善社の活動にご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、私たちはこの夏も「タイ国青少年ワークキャンプ」を実施いたします。この企画にご賛同いただき、関係の高校生、大学生をぜひご紹介いただきたく、ご案内申し上げます。

好善社は、1887年創立の社団法人で今年134年を迎え、主にハンセン病を病んだ方々やその療養所と関わってきた団体です。戦前は専門療養病院「慰廬園」の運営、また戦後は療養所教会に会堂を寄贈したり、「長島聖書学舎」を建てて伝道者の養成に携わりました。また60回に及ぶ「学生社会人ワークキャンプ」を実施して青少年に対するハンセン病の啓発につとめました。1980年代以降は、タイ国のキリスト教支援団体「チャンタミット社」の設立、運営を側面から支援してきました。今は療養所内の子どもたちに奨学金を送る事業にも関わっています。当社の社員、阿部春代看護師はタイでセルフケアクリニックの支援活動を展開、今年で21年目を迎えます。彼女のタイでの働きは各界に認められ、これまで大山医療財団からの受賞に加え、今年の3月には第39回医療功労賞海外部門を受賞しました。阿部社員は授賞式の謝辞で「こういう働きを通して与えられる『楽しさ』『喜び』を、若い人たちにもぜひ味わって欲しい」と結んでいます。阿部社員のこの言葉は、海外派遣看護師としての体験はもとより、彼女もその一人として体験したタイの療養所の子どもたちと一緒にワークキャンプに参加することで与えられた「生きる喜び・活かされる喜び」が背景にあります。

今年、日本は大地震と巨大津波の災害に加え原発事故による未曾有の苦難に見舞われています。それを知ったタイ政府や民間、チャンタミット社から物心両面の支援が寄せられています。「今までお世話になったのだから、今度は私たちが！」とのメッセージを感じて、本当に感謝です。今の状況下で、タイでのワークキャンプを実施すべきかどうか迷いました。でも、私たちは「何か自分の出来ることを提供する」だけではなく、現場に出かけて行って現状を知り、謙虚に学ぶという姿勢でワークを行ってきました。ボランティアは決して自己満足に終わってはならない。互いを理解し合い、互いの絆を深めるのが目的であって、ワークはそのための手段、入り口にすぎないと考えています。

そういう意味で、近年はこの青少年ワークキャンプが療養所の行政側からも理解、評価され、一昨年来、ワークを行政側から要請されるようになりました。排水工事、植樹、住民家屋の清掃など、直接住民の生活に関わる労働内容でした。これまでチャンタミット社の長年にわたる地域での粘り強い活動が、住民、行政施設にも認められた証です。

参加した日本の青少年は、タイの農村部の豊かな自然、タイ人少年少女の明るさ、素直さ、くつたくなさに心を開き、激しい労働にも目を輝かせて取り組む。ワーク前とは見違えるように変わって行くのが分かります。リピーターが多いのも、このワークが若者の心を捉えている証拠であって、こういうプログラムが今日、教会や学校など青少年教育に必要であることを痛感している次第です。

幸い私たち好善社には「チャンタミット社」という堅実な受け入れ団体との交流があります。また、同国の諸事情に精通した阿部看護師（好善社社員・千葉教会員）がいます。通訳と健康管理を全面的に引き受け、安全にも気を配ってくれます。

今回のワークキャンプは、タイ国最北部のチェンライ県のメーラオ・コロニーです。ワークの内容は、メーラオ教会教育館の改築に伴うコンクリート床張りで、青年たちが張り切る内容です。

以上、簡単にワークキャンプの趣旨を記しました。どうか、この企画にご賛同いただき、ぜひ関係の青少年に呼びかけていただきたく、お願い申し上げます。不明な点は、ご遠慮なく下記までお問い合わせ下さい。よろしくお願い申し上げます。

主にありて

2011年 5月5日

連絡先 三吉信彦（好善社理事・日本キリスト教団千葉教会牧師）

〒260-0855 千葉市中央区市場町9-20 TEL043-222-4475 Fax 043-224-5620

メールアドレス nob-mys@mbr.ocn.ne.jp